

2025年11月28日
大王製紙株式会社

印刷・情報用紙等の価格改定について

大王製紙株式会社（住所：東京都千代田区）は、このたび印刷・情報用紙等における価格改定実施を下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 対象品種 印刷用紙、情報用紙、ファインペーパー
2. 改定幅 全品種 現行価格 +10%以上
3. 改定時期 2026年2月1日 出荷分より

現状、生産設備の維持や老朽化対策に必要な保全・修繕に伴う資材・工事費の上昇に加え、物流コストや人件費の高騰、インフレーションの影響により各種コストが増加しております。

今後、当事業を継続するためには、生産設備の維持にとどまらず、社会全体で取り組むべき課題である温室効果ガス削減に関するコスト増も避けられない状況です。

こうした環境下において、当社では多種多様な紙・パルプを生産可能な三島工場（住所：愛媛県四国中央市）を中心に、生産調整や品種転換を進めてまいりました。引き続き、生産体制の見直しや徹底したコスト削減に取り組んでまいりますが、当社単独の努力ではコスト増を吸収しきれない状況となっております。

つきましては、安定供給体制を確保するため、対象品種について価格改定を実施させていただきたく存じます。諸事情をご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【本リリースに関する問い合わせ先】

大王製紙株式会社 広報・IR課 TEL：090-9000-0235

2025年8月29日

お取引先各位

三菱製紙株式会社

製品価格の改定について

平素は格別のご高配を賜りまして誠にありがとうございます。
標題の件につきまして、下記の通りお願いせざるを得ない状況となっておりますので
何卒ご理解を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

記

弊社の機能商品事業、紙素材事業につきましては、原燃料価格が高止まりする中、物流費、深刻化する人手不足対応に伴う人件費、生産設備の維持・修繕など事業継続に必要なメンテナンス費が増大し、更に需要減少に伴う固定費負担増により製造コストが上昇しております。また、カーボンニュートラルに向けた継続的な環境対応投資が必要になっております。

そのため、生産販売体制合理化や様々なコストダウンに取り組んでおりますが、自助努力だけでは再生産可能な収益確保が難しく、以下内容にて製品価格の改定をお願いせざるを得ない状況となっております。このような状況につき、どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 対象製品 ・印刷用紙全般（上質紙、塗工紙、微塗工紙 他）
・情報用紙全般（PPC用紙、フォーム用紙 他）
2. 改定幅 ・印刷用紙全般 現行価格+10%以上
・情報用紙全般 現行価格+10%以上
3. 実施時期 2025年10月21日 出荷分より

以上

2025年8月1日

取引先 各位

王子製紙株式会社
新聞・洋紙事業本部

印刷・情報用紙の価格改定について

平素より弊社製品に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて題記の件、昨今の不安定な世界情勢により原燃料価格は高止まりが続いており、さらには物流問題への対応に伴う物流コスト高騰、深刻化する人手不足への対応に伴う労務費上昇などの影響が日本経済全体に拡大しています。そのため、弊社においても生産設備の維持・修繕に必要な工事費や建築資材の他、抄紙用具や薬品を含む各種資材コストが著しく上昇しております。また生産設備の老朽化も進んでおり、事業継続のためのメンテナンス費用が増大している状況です。

加えて、世界的にグラフィック用紙の需要は減少を続けており、弊社としましても需要に見合った生産体制見直しを順次実施してはいるものの、稼働率低下により固定費が年々上昇しています。

また官民一体となって取り組むべき社会的課題である温室効果ガス排出量削減に向けて、王子グループでは2040年度を目標達成年度とする「環境行動目標 2040」を策定し取り組んでおります。サステナブルな素材である紙の安定供給を続けていくために、弊社でも今後様々な環境対策投資が必要となります。

生産体制の見直しも含め、全社を挙げてコスト削減への取り組みを今後も継続して参りますが、社会情勢および市場環境の変化に伴うコスト上昇は今後も続くものと予想され、製品価格への転嫁を適時お願いせざるを得ない事業環境となっております。何卒ご理解を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

記

1. 対象品種： 印刷用紙全般（中下級紙、上質紙、塗工紙、微塗工紙 他）
情報用紙全般（P P C用紙、フォーム用紙 他）
2. 改定幅： 印刷用紙 現行価格 +10%以上
情報用紙 現行価格 +10%以上
3. 実施時期： 2025年10月1日 出荷分より

以上

2025年11月19日

各位

中越パルプ工業株式会社
取締役常務執行役員営業本部長
磯部 勉

印刷・情報用紙 製品価格改定について

平素は弊社製品に対して格別のご愛顧を賜り誠にありがとうございます。
さて、昨今の原燃料価格の高止まり、労務費の増加、薬品及び物流費の高騰、さらに各設備の老朽化が進む中、生産体制の維持を図る為の費用も増大しております。

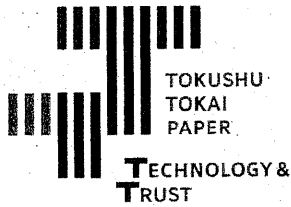
この様な状況下、徹底した合理化にてコストダウンに取り組んでおりますが、自助努力だけでは再生産可能な収益の確保が困難な状況となっております。

つきましては、製品の安定供給体制を確保する為にも、下記の通り価格改定を実施させて頂きたく、諸事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

対象品種	印刷・情報用紙
実施時期	2026年2月1日出荷分より
改定幅	現行価格より +10%以上

以上



2025年12月12日

お客様各位

特種東海製紙株式会社
基盤事業推進センター
特殊素材事業本部
営業本部

特殊紙の価格改定について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

表題の件、弊社は特殊紙につきまして、下記の通り価格改定を実施させていただきたく存じます。

諸事情をご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 価格改定の背景、理由

昨今の物価高騰を受け、原燃料や副資材の価格は引続き高い水準で推移しており、加えて設備の維持・管理にかかるコストや物流費、労務費などの多様なコストが押し並べて上昇しております。

弊社はこれまで徹底したコストダウンと効率化に努めて参りましたが、製品の安定供給や品質維持のためには、自助努力のみでは困難な状況にあることから、やむを得ず価格改定をお願いせざるを得ないとの判断に至りました。

2. 価格改定の内容

- | | |
|----------|----------------|
| (1) 対象製品 | 特殊紙全製品 |
| (2) 改定幅 | 現行価格より10%以上 |
| (3) 実施日 | 2026年4月1日出荷分より |

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

特種東海製紙株式会社 基盤事業推進センター 特殊素材事業本部 営業本部
TEL 03-5219-1817

2025年11月13日

各位

日本製紙株式会社
洋紙営業本部

印刷・情報用紙の価格改定について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここ数年、グラフィック用紙につきましては、市場の構造的な変化により内需の減少が継続しております。それに加え、円安の定着、インフレによる原燃料や諸資材価格の高止まり、物流費や人件費の上昇により、グラフィック用紙事業は採算悪化の一途を辿っております。また、設備の老朽化に伴う修繕費の増加や温室効果ガス排出量削減のための対策費用等は、弊社の事業継続のために欠かせぬものとなって来ております。

弊社では、これまでも、そしてこれからも需要に見合った生産体制の再編を行ってまいりますが、自助努力のみでは、再生産可能な収益を確保していくことが困難であること、今後もコストアップは避けられない見通しであることから、事業継続と安定供給のために、今般、価格改定をお願いせざるを得ないとの判断に至りました。

つきましては、下記の通りご案内申し上げますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 対象品種 : 印刷用紙、情報用紙 全般
2. 改定幅 : 現行価格 +10%以上
3. 実施時期 : 2026年2月2日 出荷分より

本件に対するお問い合わせは、各営業部までお願い申し上げます。

以上